

—湾岸・アラビア半島ニュース—

サウジアラビア：教育相、マッカ州知事の交替

22日、アブドッラー国王は以下の人事についての勅令を発出した。

\*ハーリド・ビン・ファイサル・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード：マッカ州知事から教育相に異動。

\*ファイサル・ビン・アブドッラー・ムハンマド・アール・サウード：本人の希望により教育相から免職。

\*ミシュアル・ビン・アブドゥルアジーズ・アール・サウード：ナジュラーン州知事からマッカ州知事に異動。

ハーリド・ファイサル新教育相（1940年2月生まれ）は、ファイサル元国王の第3王子で、有力な王族の一人として2007年からマッカ州知事を務めてきた人物である。一方、ミシュアル新マッカ州知事は、アブドッラー国王の第6王子で、英国留学や国家警備隊勤務などを経て、2009年からナジュラーン州知事を務めていた。『ハヤート』、『シャルク・ル・アウサト』などの著名なアラビア語の報道機関は、人事の内容と異動のあった人物の略歴についての事実報道のみである。その一方で、現国王の子息がサウジだけでなくイスラーム世界全体にとって重要な地域であるマッカの知事に異動した。この点は、サウジの体制の世代交代の帰趨や、初代国王の孫世代有力王族が統治機構の中でどのように配置されるかなどについて観察する上で参考となる。

（高岡 豊研究員）